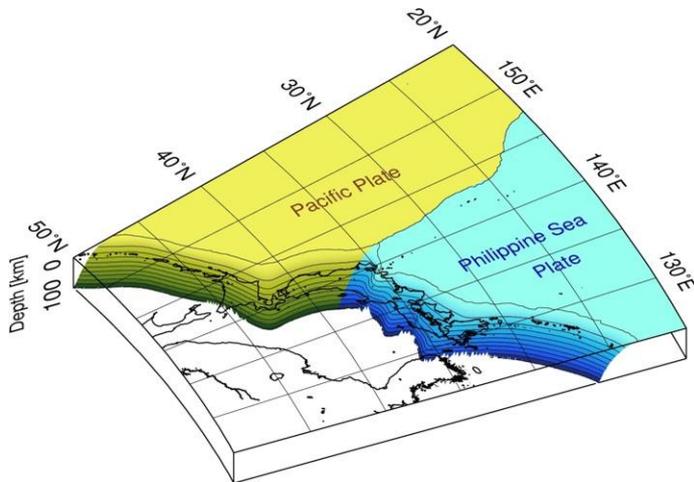


日本列島域のプレート境界面三次元形状モデル(CAMP スタンダードモデル)



【モデルの仕様】(抜粋)

●モデル領域：東経 125-155 度，北緯 20-50 度，深さ 0-100km

●基準面：固体地球の表面

※プレート境界面の深さは，海に於いては海底面からの距離を，陸に於いては地表面からの距離を，それぞれ表しています。

●基底関数：bicubic B-spline 関数

※プレート境界面の深さを，基底関数の重ね合わせにより表現しています。

本モデルは，CAMP (Crustal Activity Modelling Program) グループが開発し，研究者に対して公開しているものです。

利用に際しては，

- ・ 研究目的に限ること
- ・ 第三者への再配布を行わないこと
- ・ 発表時に下記文献を引用すること

を遵守してください。

本モデルのグリッドデータ版 (0.1 度メッシュ) を作成しました。利用希望の方は，研究目的を明記したメールを web-master@seis.nagoya-u.ac.jp までお送りください。こちらから数値データをメールにてお送りします。

【文献】

Hashimoto, C., Fukui, K., and Matsu'ura, M., 3-D modelling of plate interfaces and numerical simulation of long-term crustal deformation in and around Japan, Pure Appl. Geophys., 161, 2053-2068, 2004.